

農業版事業継続計画書 簡易版

策定・改定日	2021/11/30	従業員・家族共有日 (原則策定・改定日から1ヶ月以内)	2021/12/20	次回改定予定日 (原則1年毎に改定)	2022/12/20
想定リスク	自然災害(台風、地震)				

1. 基本方針

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1	従業員とその家族の命、生活を守る。
2	スーパーマーケットなど取引先への供給責任を果たす。
3	自社の経営を維持する。

2. 重要業務と目標復旧時間

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務	収穫・生葉から荒茶までの製茶
目標復旧時間	直ちに(3時間以内)

3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)

種別	影響	対応(代替手段等)
電気	製茶ができない	自家発電機(ガソリン)の利用
ガス	製茶(火入れてプロパン使用)ができない	ポンペを4カ所に設置
水道(農業用水含む)	製茶ができない	井戸水の利用
情報通信	取引先に連絡がとれない	携帯電話、インターネット
交通	肥料などの運搬車の運行ができない	備蓄の利用や、予め代替ルートを調整
ほ場等	農作物に被害が出る	可能なものに対して早期収穫を検討
その他	商品出荷	真空パックの商品を冷蔵保存

4. 事前対策の実施状況

分類	項目	
ヒト	安否確認手段	携帯電話(家族●名、従業員●名) 連絡体制 代表から全員に安否確認連絡
	避難場所	健康福祉センター
	欠員時の対応	従業員との協力体制ができています。
	その他	
モノ	設備使用不可時の対応	使用する機械に応じて非常用電源の稼働
	調達支障時の対応	常時よりプロパンガス、ガソリンのストックがある
	その他	普段より、機械整備を実施している
	手元資金	運転資金を常に保有している
カネ	その他	備考
	保険加入	●●保険、●●共済、●●保険に加入
	その他	備考
セーフティネット	重要情報保管場所	パソコンのデータを定期的にバックアップ
	〇等使用不可時の対応	バックアップデータを代表の自宅にて管理
	その他	関係機関の連絡先や担当者を把握し、連絡担当者が携帯電話などに保管
地域連携	地域とのつながりが強く、災害時は近隣の事業者よりガソリン、プロパンガスなどを調達することが可能。	

5. 緊急時の体制

総括責任者(代理者)	事業継続担当責任者(代理者)
A氏(B氏)	B氏

【初動対応フェーズ】(目安:緊急事態発生～24時間以内)

○状況確認

確認対象	担当者	
役員・従業員	家族を含めた安否確認	A氏(B氏)
建物・設備	ITを含む状況	A氏(B氏)
その他事業資源	肥料・飼料・農業等の在庫	A氏(B氏)
取引先	状況確認	A氏(B氏)
インフラ	電気・ガス・水道・交通等の状況	A氏(B氏)
その他		

○備蓄品の状況

品名	数量	その他	数量
救急箱	2セット	その他:簡易トイレ	20セット
飲料水	2Lx20本	その他:懐中電灯	5個
食料	従業員x7日分	その他:毛布	5枚
ヘルメット	2個	その他:	

○出勤・帰宅ルール

状況	原則ルール
出勤時	【原則】事務所内待機
在宅時	【原則】自宅待機(極力連絡がとれる状態に)
その他	【原則】一番近くの安全な場所で待機

【事業継続フェーズ】(目安:初動対応完了後～)

○重要業務継続の具体的方法

対応手順	担当者
①現状把握(発生～3時間以内) ・家族、従業員の確認 ・茶園の確認 ・製茶設備の確認 ・店舗の確認	責任者:A氏
②作業準備(発生～10時間以内) ・被災状況に応じた作業方針決め ※使用不可の場合は手作業シフト組 ・従業員への指示 ・取引先への状況報告	責任者:A氏
③収穫、加工調整作業(発生～10時間以内) ・被災状況に応じた作業方針決め ・収穫時機械が壊れた場合 可搬式代替機と手作業で対応	責任者:A氏

BCP策定後の運用

日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。また、「1年に1回は見直す」策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。